

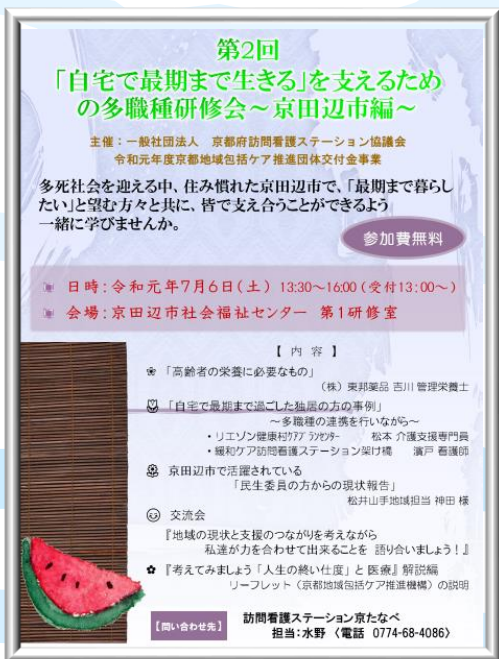
地域における医療介護職協働 在宅看取りケア研修事業 報告

今年度実施地域：京田辺市、右京区、上京区、中京区、宇治市、西京区

まずは第1弾！

7月6日（土）に京田辺市社会福祉センターで実施しました。

介護支援専門員 19名、訪問看護師 13名、通所看護師 1名、薬剤師 3名、薬局事務員 1名、訪問介護員 5名、病院MSW 1名、民生委員 1名、一般5名（グループ交流会は除く） 合計48名の参加でした。



はじめに栄養士さんから「高齢者の栄養に必要なもの」のお話を聴き、高齢者に不足しがちな蛋白質を効率よく摂取する工夫を学びました。

続いて「自宅で最期まで過ごした独居の方の事例」では、ケアマネや訪問看護師、ヘルパーが、その方の希望を叶えるために皆が同じ方向を向いて、細やかな連絡や親族への調整を行っていったこと、最期は訪問看護師とヘルパーと一緒にエンゼルケアを行ったこと、デスカンファレンスでは、「ひとりでも怖くない」と見事に生きさせたその方への尊敬と感謝の気持ちを皆で共有したことなどの報告でした。



また、民生委員の方から「自身の介護の経験を活かして近隣の方宅へ伺って話を聴き、必要な支援へ繋ぐ役割をしてきた。長年に渡り継続したことによって様々な相談窓口の提案ができるようになり、ケアマネジャーともつながりができることは重要」とのお話に皆、感銘を受けました。



最も盛り上がったのは「グループ交流会」で自地域でのサービス利用に関する課題や連携の課題、人材確保の問題、自分たちが出来る事などについて様々な意見が交換されました。

終了後のアンケートでは、多くの参加者が「研修が今後の看取りケアに活かそう」と答え、定期的にこのような多職種連携研修を望む方が多くありました。

話し合った内容を整理し、自地域における課題や提案事項などを市に提出する予定です。

